

作成日：2023 年 2 月 13 日

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ESBL 産生大腸菌による小児上部尿路感染症の抗菌薬の有効性に関する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

対象：昭和大学病院で ESBL 産生大腸菌による小児上部尿路感染症の診断で診療された方

研究対象期間：2016 年 9 月 1 日～2025 年 1 月 31 日

2. 研究目的・方法

小児急性上部尿路感染症に対して使用される抗菌薬は症例の重症度や施設ごとにさまざまですが、抗菌薬ごとに有効性を検討した報告は多くありません。当院では初期治療の第一選択薬として第一世代セフェム系抗菌薬であるセファゾリンを用いた検討を行い、その有効性と妥当性を報告してきました。今回の研究では、小児急性上部尿路感染症のうち、多剤耐性菌である ESBL 産生大腸菌によるものに対象を限定して抗菌薬の有効性と分離菌の抗菌薬感受性を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

画像検査（超音波、排尿時膀胱尿道造影、DMSA シンチグラフィ）、使用抗菌薬、有熱期間、血液培養陽性率、ESBL 産生菌の抗菌薬感受性、尿路感染症の再発率、膀胱尿管逆流現象の有無、手術適応の有無、腎シンチグラフィでの急性期欠損像の有無、腎瘢痕の有無。

4. 研究実施期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 3 月 31 日まで

5. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：江東豊洲病院子どもセンター／医学部小児科学講座 氏名：阿部祥英

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000

研究責任者：阿部祥英（医学部小児科学講座）